



MORIOKA SHINKIN BANK
SINCE 1903

DISCLOSURE 2023

ディスクロージャー2023・
盛岡信用金庫の現況

【 企業編 】





盛岡信用金庫プロフィール (2023年3月31日現在)

名 称	盛岡信用金庫
本店所在地	〒020-0871 盛岡市中ノ橋通一丁目4番6号
電話番号	019-623-2221
設 立	明治36年(1903年)1月19日
店 舗 数	23店舗
会 員 数	32,202人
出 資 金	18億96百万円
総 資 産	2,752億98百万円
預 金 残 高	2,657億90百万円
貸 出 金 残 高	1,314億9百万円
自己資本比率	8.80%
役 職 員 数	常勤役員 7名 職 員 222名

< CONTENTS >

盛岡信用金庫プロフィール	1
ごあいさつ	3
経営理念・基本方針	3
事業の概況・取組み方針	5~6
SDGsへの取組み	7
地域密着型金融の取組み	9
お客さま満足度向上への取組み	16
創立120周年事業	17
店舗一覧	18



120年の感謝と
これからも地域とともに



Top Message

ごあいさつ

皆さまには、平素より私ども盛岡信用金庫をお引き立ていただき、誠にありがとうございます。

当金庫は、令和5年1月19日に創立120周年を迎えました。これもひとえに、地域の皆さまの永きにわたるご愛顧、ご支援の賜物であり、ありがたく厚く御礼申し上げます。

本年も、当金庫の「ディスクロージャー2023」を作成しましたので、ご高覧賜りますようお願いいたします。

さて、わが国経済については、3年にもおよぶコロナ禍が続く中、ウクライナ情勢、為替相場の変動等による調達コストの上昇、資材不足、加えて、少子化の急激な進展、高齢化等など、人口減少にも拍車がかかっており、中小企業等においては、人手不足、人件費増、後継者難など、企業存続に関わる重大な局面にあります。

中小企業・金融機関を取り巻く環境は非常に厳しい中、令和4年度は、令和2年4月にスタートした中期経営計画『革新～innovation～情熱大陸作戦』の最終年度として、お取引先の本業支援をはじめ各施策の完遂を目指し、役職員一丸となり全力で取組んできました。

こうした状況の中、預金積金期末残高が2,657億90百万円となり前期比2.09%の増加、貸出金期末残高は1,314億9百万円となり前期比3.21%の減少となりました。また、余裕資金運用による預け金利息、有価証券利息配当金が増加したものの、長期化するコロナ禍の状況を勘案した一般貸倒引当金の計上等により、業務純益は3億4百万円と減益となりました。

さらに、個別貸倒引当金および債権売却損の計上等、与信コストが前期より増加したことに伴い、当期純利益は1億25百万円と減益となりました。

なお、金融機関の安全性・健全性を示す指標であります自己資本比率は、国内基準の4%を上回る8.80%となりました。

令和5年度は、新たな中期経営計画『～サステナブル経営の実現に向けた創造と挑戦～情熱大陸作戦Ⅱ(第2ステージ)』がスタートしました。本中計は、前中計の施策等を一部継承するとともに、企業風土改革も道半ばであることから、改革を一段と進めてまいります。

また、新中計の重要課題として、本部機構改革をはじめとした人事制度の見直しや人材育成の強化、さらにはデジタル化が加速する中、システム化による業務効率化や合理化、お客さまへのDX支援にも着手してまいります。

当金庫は、永続繁栄していくため、旧態依然ではなく、役職員全員が情熱を持ち、一致団結し「創造と挑戦」により時代に即した対応を図り、当金庫の価値向上・地域の発展と皆さまの幸せに貢献できるよう取組んでまいりますので、今後ともご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和5年7月

理事長 浅沼 晃

【経営理念】

当金庫は、明治36年（1903年）の創立以来120年の永きにわたり、協同組織金融機関として共存同栄（地域に根ざし、地域と共に発展する）の精神のもと、一貫して「地域社会の発展と、ゆたかな暮らしづくりをめざして」を基本理念に歩んでまいりました。

地域の皆さまから「愛され」「信頼される」地域金融機関として、経営の健全性を確保し、より良質な金融商品とサービスの提供に努めてまいります。

【基本方針】

中小企業と一般大衆の地域金融機関として、金融の円滑化を図り、地元産業経済の繁栄に奉仕し、もって日本経済の発展に貢献します。



【経営方針】

収益力の強化

意欲と情熱をもって積極的に行動を起こし、攻めの営業に転じ収益力を強化し堅固な経営基盤の構築に努めます。

経営の安定と発展

常に健全経営を維持し、金融機関としての信用を高め、不断の発展を図ります。

社会への奉仕

地域社会ニーズへの対応を社会的責任と認識し、広く金融サービスの向上に努めます。

調和ある経営

会員、取引先との調和の取れた経営を行い、役職員との融和により、事業の組織的運営を行います。

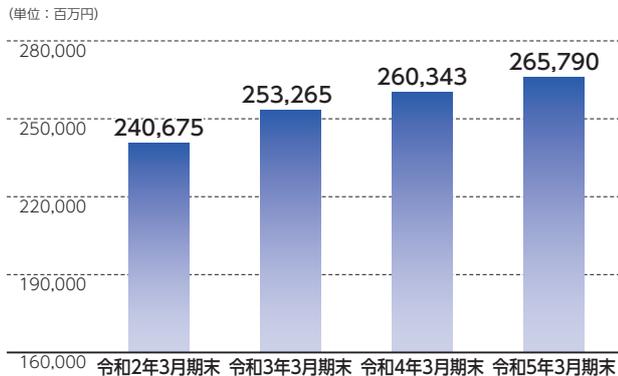
働きよい職場

職員の創意を尊重し、人材の登用と資質の向上を図ります。

預金残高の推移

【預金】

創立120周年記念定期預金「スマイル」を積極的に推進した結果、預金残高は2,657億90百万円（前期比54億46百万円増加）となりました。



貸出金残高の推移

【融資】

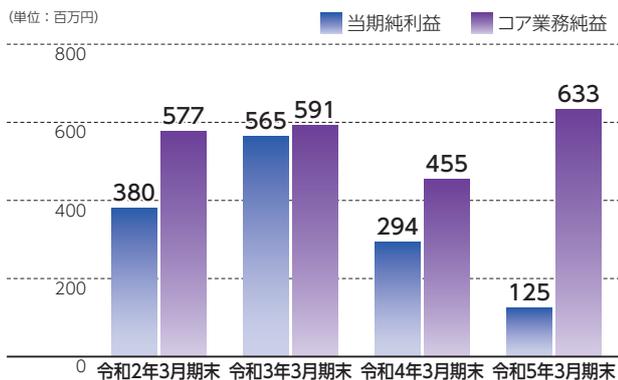
消費者ローン・住宅ローン等、個人向け融資が増加したものの、地公体貸出等の償還により、貸出金残高は1,314億9百万円（前期比43億67百万円減少）となりました。



当期利益の推移

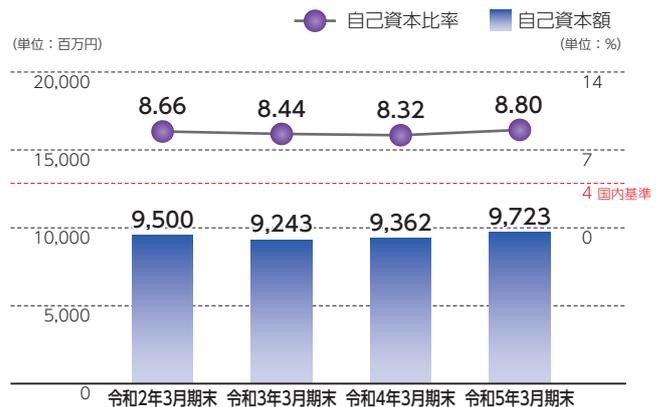
【収益】

当期純利益は1億25百万円（前期比1億68百万円減少）となりました。金融機関の本来業務での収益力を示すコア業務純益は、6億33百万円（前期比1億77百万円増加）となりました。



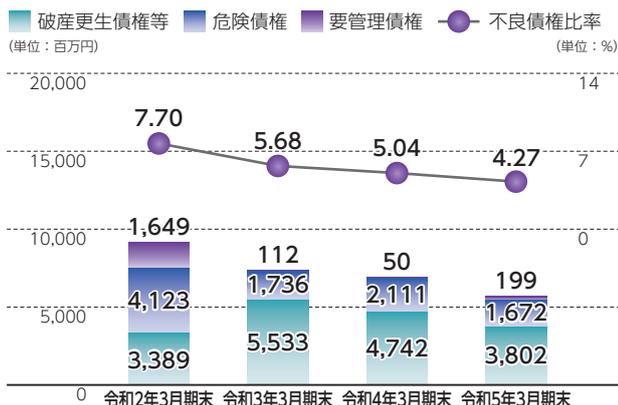
自己資本比率

自己資本の額は、97億23百万円（前期比3億61百万円増加）となりました。自己資本額の増加により、自己資本比率は8.80%（前期比0.48ポイント増加）となりました。こちらは、国内で業務を行う金融機関に義務付けられている自己資本比率4%を大きく上回っております。



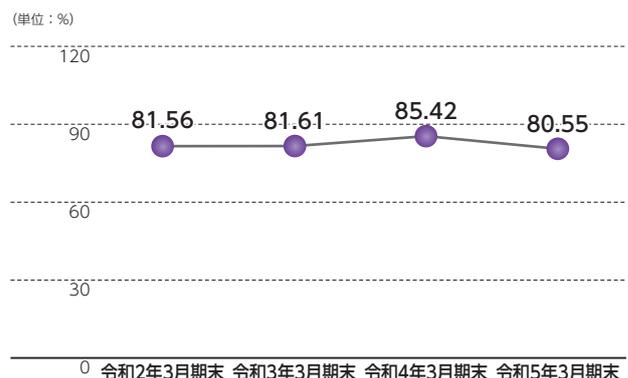
不良債権比率

前倒しで不良債権処理を進めた結果、金融再生法に基づく不良債権残高は、56億73百万円（前期末比12億29百万円減少）となり、不良債権比率は4.27%（前期末比0.77ポイント減少）となりました。若手県中小企業活性化協議会等、外部機関と連携しながら積極的的事业再生に取り組んでおります。



OHR（オーバーヘッドレシオ）

業務粗利益に占める経費の割合を示したものであり、令和4年度は徹底した経費削減に取り組んだことにより、80.55%（4.87ポイント減少）となり、経費効率を高めております。



新中期経営計画のビジョン

(サステナブル経営の実現に向けた創造と挑戦『情熱大陸』作戦Ⅱ 2023.4～2026.3)



コーポレートメッセージ

「あなたのそばに、もっと身近に」

経営
ビジョン

- ① 将来にわたる盛岡信用金庫の存続と発展 (組織風土プロセスの視点)
- ② 職員の声を反映した働きがいのある職場 (風土・文化の視点)
- ③ お客さま満足度の向上 (顧客の視点)

基本方針

地域で信頼される信用金庫を目指し、お客さまに寄り添い、お客さまの課題を解決するための良質な金融サービスの提供を目指していきます。

そのためには、課題解決を担う人づくりを進め、外部機関と連携しながらお客さまの満足度向上を目指します。

こうした積み重ねで、地域の信頼を得て、地域の発展・成長に貢献していきます。

- ① 経営力・経営管理態勢の強化
- ② 職員が働きがいを感じられる職場環境の整備と人材育成の態勢確立
- ③ 地域の支援力・営業力の強化

重点戦略

2

職員の
働きがいを感じられる
職場環境の整備
人材育成の態勢確立

重点戦略

1

経営力・
経営管理態勢の
強化

役職員家族の幸せ

金庫の持続的繁栄

サステナブル 経営の実現!

金庫の価値向上、社会課題の解決

地域の持続的繁栄

重点戦略

3

支援力
営業力の強化

(3) 金庫の将来のために

- ① 本部機構改革への取組み
- ② 働きがいのある
職場環境の改善に向けた
取組み促進
- ③ 人材育成・確保に向けた
取組み強化
- ④ 金庫のブランド力向上に
係る取組み
- ⑤ 営業店の取組み支援

(1) 経営力の強化

- ① 適正利益の確保
- ② 健全性・透明性の向上
- ③ 生産性・効率性の向上

(2) 経営管理態勢の強化

- ① 内部管理態勢の強化
- ② 継続的なマネロン対応
- ③ 統合的リスク管理の強化
- ④ サイバーセキュリティの強化

(4) 支援力の強化

- ① ライフステージに応じた支援強化
- ② 金融仲介機能の更なる発揮
- ③ 地方創生・地域活性化への貢献
- ④ 循環型社会の形成に向けた取組み

(5) 営業力の強化

- ① 営業推進体制の強化
- ② 職員個々の営業能力向上

SDGsへの取組み

当金庫は、国際連合が提唱するSDGs（持続可能な開発目標）の達成に、より一層貢献していくことを目的として、盛岡信用金庫「SDGs宣言」を策定しました。また、岩手県内の6信用金庫（盛岡信用金庫・宮古信用金庫・一関信用金庫・北上信用金庫・花巻信用金庫・水沢信用金庫）で、「SDGs共同宣言」を公表いたしました。

今後も、「地域経済」「地域社会」「地域環境」の3つの側面からお取引先をはじめ、地域社会が抱える課題の解決と持続可能な社会の実現に努め、地域金融機関としての使命を果たしてまいります。

盛岡市内三つの児童養護施設へ書籍等を寄贈（第2回目）



令和5年1月19日、盛岡市内の三つの児童養護施設〔みちのく・みどり学園、青雲荘、和光学園〕に対し、書籍等（30万円相当）をそれぞれ贈呈しました。

当金庫創立120周年事業の一環として、お取引先支援、地域貢献、さらには「SDGs宣言」目標に基づく取組みに資するべく、令和3年度から3回に亘り書籍を寄贈させていただくこととしています。



「ブルズアクション」を実施



令和5年3月20日、岩手ビッグブルズの選手2名と「幼保連携型認定こども園ふどうこども園（園長 田口 和子 様）」を訪問し、ミニバスケットゴールとボールを寄贈する「ブルズアクション」を実施しました。

本事業は、当金庫創立120周年事業の一環として、株式会社岩手ビッグブルズと連携し、お取引先支援、地域貢献、さらには「SDGs宣言」目標に基づく取組みに資するべく実施した企画です。



「象と花（ゾウトハナ）」プロジェクト「古本回収（寄付）ボックス」の設置



「もりおかSDGsファンド」投資先である株式会社盛岡書房（代表取締役 高館 美保子 様）の「古本回収（寄付）ボックス」を当金庫23店舗に設置し、お客さまをはじめ当金庫役職員から古本の寄付を募っています。令和3年8月から令和5年3月までに、書籍等15,679冊の寄付を受付しました。

令和3年8月から開始した「象と花（ゾウトハナ）」プロジェクトは、病気とたたかう子供たちへ、読み終えた本を循環させ新しい本に替えて贈ることで、子供たちと読書のよろこびを分かち合う取組みです。

また、令和4年2月から遠野市の図書館「こども本の森遠野」と連携した新たなプロジェクトを開始しました。同図書館の棚から入れ替える本や、当金庫遠野支店の「古本回収（寄付）ボックス」に寄付していただいた本の査定額を基に、販売した代金の一部を図書館の運営費として循環させる取組みです。



子育て世帯をサポート



18歳未満のお子さまをお持ちの世帯、母子家庭・父子家庭の世帯を対象に、預金・融資商品の金利優遇サービスを行う「子育て支援事業」に平成20年7月から取組み、地域の子育て支援を積極的にサポートしています。



「もりしんPresents 田中達也 MINIATURE LIFE展2」 招待券の贈呈



当金庫では、創立120周年事業の一環として、「田中達也 MINIATURE LIFE展2」へ特別協賛し、本展を盛り上げ、地域のお客さまに喜んでもらえる独自企画等も実施しました。その一つとして、本展の招待券を当金庫より盛岡市社会福祉協議会へ贈呈、児童館や学童クラブの子供たちに渡していただくなど、情操教育に繋がる取組みを実施しました。



もりしんSDGs私募債「ちいきのミライ」(寄附型)の取扱い



当金庫では、お客さまのSDGsに係る課題解決支援の一環として、令和4年1月14日より『もりしんSDGs私募債「ちいきのミライ」』の取扱いを開始し、第1号案件として、令和4年9月26日、株式会社二富電機(代表取締役 高宮 良作 様)が発行する私募債を受託しました。なお、本私募債のスキームに基づき、同社から、岩手県立盛岡工業高等学校へ教育関連用品が寄贈されました。



e-dash株式会社との CO₂排出量可視化サービスに係る業務提携



当金庫は、e-dash株式会社(代表取締役社長 山崎 冬馬 様)とCO₂排出量可視化サービスに係る業務提携を行いました。

同社が提供するフォーム「e-dash」を活用し、お客さまの脱炭素化へ向けた取組み支援(CO₂排出量の可視化、排出量削減に向けた施策の実行)を行います。



SDGs・ESG金融に係る研修会を開催



当金庫では、お客さまの課題解決支援の強化に向け、役職員のSDGs・ESG金融に係る意識醸成、ノウハウ・スキルの向上を図るため、定期的に研修会を開催しています。

令和4年6月7日、当金庫の創立120周年事業の一環として、ESG金融の有識者であります三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社の吉高まり様を講師に招き、役職員約50名が参加し、SDGs・ESG金融に係る研修会を開催しました。



SDGs関連債券等への投資



余資運用の一環として、グリーンボンドやソーシャルボンドへ投資しています。これらの対象は、環境問題、社会的課題さらには企業統治等へ配慮している企業等への投資であり、引き続き、当金庫の経営理念の実践およびSDGs達成に向け、適切なリスク管理のもと取組んでいきます。

地域密着型金融の取組み

当金庫は、「地域社会の発展と、ゆたかな暮らしづくりをめざして」を基本理念として、地域の皆さまから「愛され」「信頼される」地域金融機関を目指して、地域密着型金融の推進に取り組んでいます。

盛岡信用金庫

基本理念

「ゆたかな暮らしづくりをめざして」

《ライフステージに応じたソリューションの提供》

創業期	成長期	安定期	低迷期	再生期
創業計画作成支援	事業計画作成支援		経営改善計画作成支援	
			事業承継・M&A支援	
			事業再生支援	
ファンド活用支援				
ビジネスマッチングによる課題解決支援				
外部支援機関や専門家と連携				
◇中小企業基盤整備機構◇岩手県中小企業活性化協議会◇岩手産業復興機構◇岩手県産業復興相談センター ◇岩手県事業承継・引継ぎ支援センター◇岩手県よろず支援拠点◇岩手県発明協会◇岩手県信用保証協会 ◇日本政策金融公庫◇公認会計士◇税理士◇中小企業診断士◇行政書士◇商工会・商工会議所 ◇コンサルティング会社 等				

《地方創生に向けた取組み》

◇盛岡市・久慈市・二戸市・紫波町・矢巾町との連携協定締結

《地域貢献活動》

◇もりしん地域見守り協力隊◇桜の礼所・絵画コンクール◇岩手県学生軟式野球選手権大会「もりしんカップ」
◇二戸地区信友会連絡協議会学童軟式野球大会◇もりしん愛の献血運動◇文化事業の開催
◇もりしんマネースクール(出前授業)◇中学生職場体験学習◇もりしん中学生野球教室◇懇話会(事業経営者の異業種交流)
◇ゴルフデンサークル(ゴルフ)◇年金友の会(旅行)◇地域の祭り・イベントへ参加

《環境保全への取組み》

◇「紫波企業の森づくり」森林環境保全活動◇「八幡平松尾鉱山跡地」森林再生活動
◇「再生可能エネルギー事業」を通じて地域活性化への支援

事業の成長・地域の発展

事業支援・事業再生支援

中小企業の経営支援に関する取組み方針

- 地域金融機関の使命として、中小企業の事業活動の円滑な遂行とお客さまの生活安定のために、貸付条件の変更等や円滑な資金供給に努め、金融の円滑化に取り組んでまいります。
- 人口急減・超高齢化という我が国が直面する大きな課題に対し、各地域がそれぞれの特徴を活かした自律的で持続的な社会を創生できるよう、各方面と連携して取り組んでまいります。
- 金融仲介機能を発揮し、お客さまのニーズや課題に応じた融資やソリューション(解決策)の提供を行うほか、外部支援機関や専門家と連携し、事業の成長や地域経済の活性化に貢献してまいります。
- 経営革新等支援機関(認定支援機関)として新規事業支援や事業再生支援のほか、事業再構築補助金、ものづくり補助金等の活用促進に努めてまいります。

中小企業の経営支援に関する態勢整備の状況

- 新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けているお客さまから、資金需要や貸付条件の変更等のお申し出があった場合には、これまでと同様に経営課題に応じた最適な解決策をお客さまの立場に立てて提案し、実行支援を行う態勢を整備しています。
- 「もりおかSDGsファンド」を設立し、SDGsや地域課題解決に寄与する事業者に対し、資金確保や事業経営の課題に対応する態勢を整備しています。
- 「とうぎん・もりしんアグリファンド」を設立し、農業法人を出資や経営支援の面から支え、岩手県の基幹産業を支える農業の発展・活性化につながる支援を行う態勢を整備しています。
- FVC Tohoku株式会社(盛岡市産業支援センター指定管理者)へ、当金庫より職員を派遣し、起業家並びに創業時の支援・相談態勢の強化に努めています。
- 中小企業の経営改善および事業再生に向けて、本部に専門部署を設置し、独立行政法人中小企業基盤整備機構、岩手県中小企業活性化協議会、岩手県よろず支援拠点、コンサルティング会社等の外部支援機関や専門家と連携して、お客さまの抱える課題等に対応できる態勢を整備しています。
- 中小企業の金融の円滑化を図り、地域経済の発展に寄与することを目的に、株式会社日本政策金融公庫および株式会社商工組合中央金庫と「業務提携・協力に関する覚書」を締結し、当金庫と公的金融機関の機能や特性を活かしながら、お客さまの抱える課題の総合的な解決方法を提案できる態勢を整備しています。
- 東日本震災により被害を受けた中小企業のために、岩手産業復興機構、岩手県産業復興相談センター等と連携し、継続した支援を行っています。
- 事業承継、M&A仲介業務の強化策として、岩手県事業承継・引継ぎ支援センター、株式会社日本政策金融公庫、コンサルティング会社等と連携して支援を行う態勢を整備しています。

中小企業の経営支援に関する取組み状況

- 「もりおかSDGsファンド」の投資により、SDGsや地域課題解決に寄与する事業者の支援に積極的に取り組んでいます。「もりおかSDGsファンド」設立からの投資金額は12社84百万円です。
- 「とうぎん・もりしんアグリファンド」の投資により、岩手県内の農業法人の発展・活性化支援に積極的に取り組んでいます。「とうぎん・もりしんアグリファンド」設立からの投資金額は3社54百万円です。
- 令和4年度は、重点支援対象先として30先を選定し、営業店と本部が連携して経営改善に努めたほか、外部支援機関と連携して経営改善計画書の策定支援や事業再生のアドバイスを行うなど、より実効性の高い支援に取り組めました。
- 事業の悩み、課題解決の一助として、岩手県よろず支援拠点との合同相談会を開催し、令和4年度は34事業先の相談を受けました。
- 当金庫では、「経営者保証に関するガイドライン」及び事業承継時に焦点を当てた同ガイドラインの特則の趣旨や内容を十分に踏まえ、お客さまからお借入れや保証債務整理の相談を受けた際に真摯に対応するため、「経営者保証に関する取組み方針」を下記のとおり策定しています。同取組み方針に基づき、経営者保証の必要性については、お客さまとの丁寧な対話により、法人と経営者の関係性や財務状況等の状況を把握し、同ガイドラインなどの記載内容を踏まえて十分に検討するなど、適切な対応に努めています。なお、令和4年度に当金庫において、新規に無保証で融資をした件数は369件、新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合は37.5%、保証契約を解除した件数は24件、同ガイドラインに基づく保証債務整理の成立件数(当金庫をメイン金融機関として実施したものに限り)は1件です。

経営者保証に関する取組み方針

- 当金庫では、「経営者保証に関するガイドライン」(以下、「ガイドライン」という。)の趣旨や内容を踏まえ、同ガイドラインを融資慣行として浸透・定着していくために、以下のとおり取り組みます。
- お客さまから融資等資金調達のお申込みを受けた場合、当金庫ではお客さまのガイドラインの要件の充足や経営状況等を総合的に判断する中で、経営者保証を求めない可能性や経営者保証の機能を代替する融資手法(一定の金利の上乗せ等)を活用する可能性について、お客さまの意向を踏まえたうえで検討いたします。
 - 上記の検討を行った結果、経営者保証を求めることがやむを得ないと判断し、経営者保証を提供いただく場合、当金庫はお客さまの理解と納得を得ることを目的に、保証契約の必要性等に関する丁寧かつ具体的な説明を行います。
 - お客さまから既存の保証の変更・解除等の申し入れがあった場合は、ガイドラインに即して改めて経営者保証の必要性や適切な保証金額等について真摯かつ柔軟に検討を行うとともに、その検討結果について丁寧かつ具体的な説明を行います。
 - お客さまからガイドラインに基づく保証債務整理の申し出を受けた場合には、ガイドラインに即して誠実に対応いたします。
 - 割引手形や保証付きの個人事業主への融資における経営者保証を原則不要といたします。

経営支援力の向上

- お客さまの資金繰り改善支援や事業再生支援、目利き力向上等のコンサルティング機能の発揮に向けて継続的に研修会を行っています。
- 令和4年度は、独立行政法人中小企業基盤整備機構から講師を招いて「事業承継実践インテリジェント研修」を実施し、お客さまの事業承継に対するサポート力の向上を図りました。また、株式会社ライオンから講師を招いて「補助金・助成金自動診断システム(J-システム)の勉強会」を実施し、ITツールを活用した中小企業支援スキルの向上を図りました。
- 東北大学大学院経済学研究科地域イノベーション研究センターが主宰する「地域イノベーションアドバイザー塾(RIAS)」へ当金庫職員を塾生として派遣し、企業経営と事業革新に関する知識や支援に必要な実践的なスキルを習得、「地域イノベーションアドバイザー」の資格を取得し、お客さまの革新的事業の創出に向けた支援を行っています。

○ファンドの紹介

【もりおかSDGsファンド】

「もりおかSDGsファンド」は、地域における社会課題の解決・SDGs（持続可能な開発目標）、起業家・経営革新企業の創出、コロナ禍からの復活を投資テーマとし、盛岡広域圏の自治体との連携のもと、SDGsに基づく17のゴールの達成および社会課題解決に取り組む企業へのリスクマネーの供給と経営に対するハンズオン支援を通じ、事業の成長、雇用拡大、地元経済・産業の発展に貢献するものです。

当ファンドは、当金庫、盛岡市、滝沢市、矢巾町、FVC Tohoku株式会社との共同出資により設立され、のちに紫波町が加入しました。ファンド総額は199百万円、設立から令和5年3月末までの投資実績は12社84百万円です。

【とうぎん・もりしんアグリファンド】

「とうぎん・もりしんアグリファンド」は、ファンドによる「資本に対するリスクマネーの供給」を通じ、岩手の基幹産業である農業を支援しています。

当ファンドは、当金庫、株式会社東北銀行、株式会社日本政策金融公庫、株式会社AGSコンサルティングとの共同出資により設立されました。ファンド総額は200百万円、設立から令和5年3月末までの投資実績は3社54百万円です。

農業法人投資育成事業にかかるファンドの信用金庫と地方銀行による共同設立は、全国初の取組みです。

○投資先の紹介

【もりおかSDGsファンド】

株式会社東北医工

株式会社東北医工（盛岡市）は、手指の片麻痺等脳卒中の後遺症に悩む患者のリハビリテーションを支援するロボットの開発に取り組んでいます。

国内の脳血管疾患患者数は110万人である一方、リハビリテーションや治療にあたる療法士の数は約10万人に留まっており、特に岩手県を含む東北地方では脳卒中の後遺症に苦しむ患者数が多く、これらの解決が喫緊の課題となっております。

同社はこれまで培ったロボティクス技術を活用し、岩手大学・東北大学をはじめとする各研究機関との連携を推進しながら、従前から行われている徒手的なリハビリテーションの一部を代替する、脳卒中リハビリロボットの開発を進めています。

同社が開発しているリハビリ機器は、医療現場における作業療法士らの負担軽減、ひいては患者の治療機会を創出し、人と医療の懸け橋になることから、ファンドによる支援を行いました。



【もりおかSDGsファンド】

株式会社クラシカウンスル

株式会社クラシカウンスル（盛岡市）は、地域誌「てくり」のスタッフが、岩手県に受け継がれる地場産業の振興と地域活性化を目指して令和2年に立ち上げました。手紡ぎの羊毛を使った毛織物「ホームスパン」を中心に、鉄器など地域の工芸品の販売やイベント企画を担っています。

また、古くから続くホームスパンの技術と作品の多様性を、地域の皆さまが体験する場として、令和4年11月、盛岡市中央公園BeBATERRACE内に「手紡ぎ・手織りの学校Looms」を開校しました。開校後は、岩手に受け継がれる貴重な地場産業を楽しく学ぶ場として、岩手県内外問わず多くの方に親しまれています。

同社の特徴は、ホームスパンにおける羊毛生産・商品製造・販売・担い手育成を、一気通貫で手掛けられることです。ホームスパンの聖地である盛岡を拠点に、地場産業の振興と地域活性化が期待できることから、ファンドによる支援を行いました。



○岩手県よろず支援拠点との連携

全国初の取組みとして、事業の悩み・課題解決の一助を目的に、平成26年12月から岩手県よろず支援拠点との合同相談会を開催し、これまでに延べ560事業先（令和5年3月末時点）の相談を受けました。

岩手県よろず支援拠点では、単なる問題点の指摘や現状分析に終わらず、強みを見つけ、具体的な戦略を立て、成果に導く支援をしています。令和4年度からは、Zoomによるオンライン相談に対応し、最寄りの営業店で相談できる態勢を整えています。



○ビジネスマッチング・販路拡大支援等

「ビジネスマッチ東北」をはじめ、全国の信用金庫ネットワークを利用して、首都圏の信用金庫等が主催するビジネスフェア、物産展へ多くのお取引先企業を推薦し、県内外に向けた販路拡大の支援を通じてお取引先企業の発展に貢献しています。



東北地区



- 令和4年6月14日
「いわて食の大商談会2022」
(岩手県、盛岡信用金庫他主催)



- 令和4年9月16日～18日
「とうぎん・もりしん・LiViT マルシェ」
(盛岡信用金庫、株式会社東北銀行、JR東日本東北総合サービス株式会社 盛岡支店共催)



- 令和4年11月10日
第17回「ビジネスマッチ東北2022秋」
(東北地区信用金庫協会他主催)



首都圏

- 令和4年5月17日～18日
「第16回 東京発！物産・逸品見本市」
(西武信用金庫主催)
- 令和4年6月8日～9月7日
「<<さいしん>>特産品
オンラインショップ～粋（すい）～」
(埼玉縣信用金庫主催)
- 令和4年10月13日
しんきんビジネスマッチング
「第17回ビジネスフェア2022」
(東海地区信用金庫協会主催)
- 令和4年10月14日
「第11回さわやか信用金庫物産展」
(さわやか信用金庫主催)
- 令和4年11月11日
「ひがしんビジネスフェア2022」
(東京東信用金庫主催)
- 令和4年11月15日
「第22回ビジネスフェア」
(西武信用金庫主催)
- 令和4年12月6日～7日
「2022“よい仕事おこし”フェア
コロナに負けるな！大商談会」
[よい仕事おこしフェア実行委員会主催
(事務局 城南信用金庫)]



○地方創生の連携に関する協定



当金庫は、地域活性化に資することを目的として、盛岡市、久慈市、二戸市、矢巾町、紫波町、葛巻町並びに特定非営利活動法人wizと地方創生に係る連携協定を締結しています。

盛岡市	平成28年 3月24日「地方創生の連携に関する協定」締結 平成31年 2月 6日「産業振興の連携に関する協定」締結
久慈市	平成27年 2月23日「地域経済活性化に向けた包括連携に関する協定」締結
二戸市	平成28年12月 9日「地方創生の連携に関する協定」締結
矢巾町	平成28年 5月11日「地方創生の推進に関する包括的連携協定」締結
葛巻町	令和 5年 1月23日「地域活性化に向けた包括連携協定」締結
紫波町並びに 特定非営利活動法人wiz	令和 2年 1月28日「地方創生に向けた地域人材の育成に関する協定」締結



○もりしん「地域見守り協力隊」



もりしん「地域見守り協力隊」の活動は、日常生活および通常業務の中で、子ども・女性・高齢者を含む、地域で生活するすべての住民が、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、自治体、警察署並びに消防署等関係機関との連携協力を図り、不測の事態を未然に防ぎ、地域の安心・安全を見守りおよび支援する「良き企業市民」としての役割を果たすことを目的としています。

これまでに、盛岡市をはじめ8市町と協定を締結し活動しています。

盛岡市	令和2年 7月 8日「地域において支援を必要とする者の把握に関する協定」締結
滝沢市	令和2年11月 2日「地域見守り協力に関する協定」締結
矢巾町	令和2年11月 4日「地域において支援を必要とする方の把握に関する協定」締結
二戸市	令和2年12月 2日「地域において支援を必要とする方の把握に関する協定」締結
八幡平市	令和2年12月23日「八幡平市高齢者等見守りネットワーク事業に関する協定」締結
遠野市	令和3年 1月26日「地域見守り活動に関する協力協定」締結
紫波町	令和3年 2月17日「紫波町における地域の安全・安心と活性化に関する連携協定」締結
久慈市	令和3年 3月 9日「久慈市地域見守り協力事業に関する協定」締結



○地域の祭り・イベントへの参加

一年を通して積極的に地域の行事に参加しています。

令和4年8月2日には、3年ぶりの開催となった「盛岡さんさ踊り」に参加しました。その他、遠野市「さくら祭り」二戸市「二戸まつり」など、地域のお祭り・イベントに役職員が参加しています。



○第36回岩手県学童軟式野球選手権大会「もりしんカップ」

平成26年度から岩手県野球協会が主催する「岩手県学童軟式野球選手権大会」へ特別協賛しています。

第36回岩手県学童軟式野球選手権大会「もりしんカップ」は、令和4年7月30日・31日・8月6日・7日の日程で、雫石町営野球場と雫石町営鶯宿グラウンドA・B・Cを会場に開催されました。

本大会は、岩手県下より各地区の予選を勝ち抜いたスポーツ少年団32チームが出場し、闘志あふれる熱戦が繰り広げられました。



【優勝】米崎リトルスポーツ少年団（陸前高田市代表）



○第36回二戸地区信友会連絡協議会学童軟式野球大会

平成20年度から二戸地区信友会連絡協議会が主催する「二戸地区信友会連絡協議会学童軟式野球大会」へ後援・協賛しています。

第36回二戸地区信友会連絡協議会学童軟式野球大会は、令和4年7月23日・24日一戸町総合運動公園野球場を会場に開催されました。

本大会は、二戸地区から選抜されたスポーツ少年団6チームが出場し、ファイトあふれるプレーが繰り広げられました。



【優勝】福岡ジャガーズ（二戸信友会）



○第6回「もりしん愛の献血運動2022」～6月15日は信用金庫の日～

昭和26年（1951年）6月15日に「信用金庫法」が公布・施行されたことちなみ、6月15日を「信用金庫の日」と定め、全国の信用金庫が毎年地域に密着した取組みを実施しています。

当金庫では、令和4年6月～12月の期間中、第6回「もりしん愛の献血運動2022」を実施し、役職員とその家族が献血をしました。



○もりしんマネースクール（出前授業）

地域の小学校を訪問し「お金の使い方や金融機関の仕事」について学ぶ「マネースクール」を開催しています。平成20年度より、小学校延べ46校120クラス、3,992名の児童を対象に開催しました。



○中学生職場体験学習



職場体験・就労体験を通じ、その職業の魅力、社会人に求められることや働くことの大切さ、職業選択の考え方などを学ぶ総合学習の一環として、平成27年度より中学校延べ16校114名の生徒を対象に実施しました。

令和4年度は、中学校2校11名の生徒を対象に、金融機関の基本業務を説明する他、営業店業務の見学等を実施しました。



○第10回盛岡信用金庫 「桜の札所・絵画コンクール」



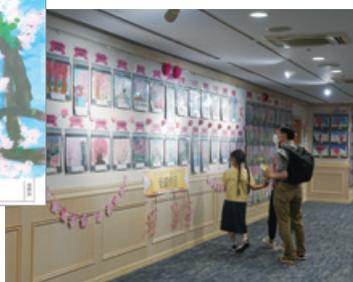
平成25年の春から、子供たちに自然を大切にす心・郷土を愛する心を育み、子供たちが心豊かでたくましく成長することを願い、盛岡信用金庫「桜の札所・絵画コンクール」を開催しています。

第10回目となる令和4年春のコンクールには、25校1団体の児童より1,358点の作品をご応募いただき、内27点を受賞作品として選定しました。

令和4年8月11日から、パルクアベニュー・カワトク7階ロイヤルルームを会場とした応募作品展示会を皮切りに、令和5年5月15日まで二戸支店・久慈支店・遠野支店の営業店ロビーのほか、盛岡駅南北自由通路「わんこロード」にて応募作品・入賞作品を展示しました。



第10回盛岡信用金庫
「桜の札所・絵画コンクール」
【盛岡信用金庫理事長賞】
桜を描いた場所：高松の池
盛岡市立上田小学校2年生
北山 惟月さん



○観光招致活動



平成23年の東日本大震災を機に、全国の信用金庫のネットワークを活用し、岩手県内への観光招致活動を行っています。令和4年10月には、高松信用金庫「艶やかみちのく紀行」旅行団の皆さま計88名がご来県されました。当金庫は、遠路はるばるお見えになりました旅行団の皆さまへご来県された御礼と感謝の気持ちを込め、当金庫職員で構成した“もりしんさんさ踊り同好会”による「盛岡さんさ踊り」を披露しました。



○サークル活動



「もりしん懇話会」

事業経営者の異業種交流・親睦を深めることを目的として、各営業店単位で組織しています。

講演会、親睦会などを開催しており、気軽に情報交換ができる場として好評を得ています。

「ゴールデンサークル」

お取引いただいているお客さまの中で、ゴルフを楽しまれる方々のサークルです。

ゴルフを通じて親睦を深めるとともに、会員同士の交流によりビジネスマッチ等の接点を得る機会と捉え、取引の拡充を目的としてゴルフコンペを企画し開催しています。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染防止策を講じて開催しました。

開催日：令和4年7月6日／安比高原ゴルフクラブ／
241名参加

開催日：令和4年10月18日／南部富士カントリークラブ／
245名参加

「もりしん年金友の会」

当金庫で年金をお受け取りいただいているお客さまや、年金振込のご予約をいただいているお客さまのサークルです。定期預金の金利優遇や、年金受給中の方にはお誕生日プレゼントの特典があります。



○「紫波企業の森づくり」 森林環境保全活動

森林を整備し、水源涵養など森林の公益的機能の向上を目的として、平成23年11月、紫波町と「紫波企業の森づくりに関する協定」を締結しました。

本活動は、紫波町における燃料供給態勢確立へ向けての支援事業の一環として、平成24年から令和8年までの15年間にわたり実施します。

森林整備を通じ、二酸化炭素吸収、水源涵養、土砂流出防止等のほか、間伐によって搬出された木材は、木質チップとして再資源化することにより地域内のエネルギーとして活用されます。

第11回目となる令和4年度の活動は、令和4年6月18日に新入職員を対象として、これまでの経緯説明の他、ラ・フランス温泉館の再生可能エネルギー設備の見学、「令和の森」育樹作業とクスギの苗木5本を植樹しました。



○「八幡平松尾鉦山跡地」 森林再生活動

平成20年度より、荒廃裸地化した鉦山跡地を森林に戻そうと八幡平松尾鉦山跡地に「友情の森」と名付け、森林再生活動に取り組んでいます。

これまでに植樹した苗木は1,000本を超え、最初に植樹した苗木は9m超の樹木に成長したものもあり、少しずつ森が形成されています。



○「再生可能エネルギー事業」を通じた地域活性化への支援

再生可能エネルギーを活用した事業を継続的に推進・支援することで、「地産地消方式」の環境ビジネスの確立に取り組んでいます。

自治体等への提案を行い地域内で得たエネルギーを地域内で消費し、エネルギー代として地域外へ流出していた資金を地域内で循環させていくエネルギー版「地産地消方式」を積極的に促進しています。これにより、新たなビジネス・雇用を創造すると共に地域の活性化を目指しています。

なお、紫波中央駅前の再開発（オガールプロジェクト）において、紫波町役場、商業施設、宿泊施設、住宅へ木質バイオマスを利用した地域熱供給事業を行うための、エネルギーステーション建設計画を支援しました。また、森林整備を行い、生じた間伐材は地域の公共温泉施設等でチップボイラーの燃料として使用されます。



○岩手県 令和4年度「水と緑を守り育てる活動知事感謝状」を拝受しました

「紫波企業の森づくり森林環境保全活動」および「八幡平松尾鉦山跡地森林再生活動」に対し、岩手県から一定の評価を受け、令和4年度「水と緑を守り育てる活動知事感謝状」を拝受しました。



○お客さまのために

お客さまにご満足いただける商品・サービスを提供するために、店頭・ATMコーナーに「ご意見箱」を設置し、お客さまのご意見ご要望をお寄せいただいています。

○サービス向上・改善に向けた具体的取組み

お客さまからのご意見ご要望をもとに、これまで取組んでまいりました主な施策を紹介させていただきます。



●「拡聴器」を各営業店窓口を設置



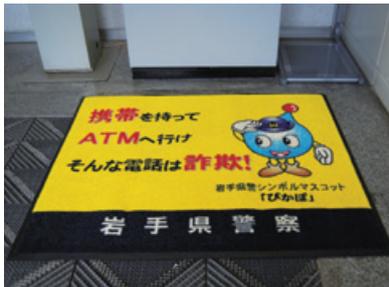
●「杖ホルダー」を各営業店窓口を設置



●「コミュニケーションボード」「筆談ボード」を各営業店窓口を設置



●ATMは全台「視覚障がい者対応ATM」を導入



●ATMを利用した特殊詐欺被害の防止を目的とした「注意喚起マット」を設置



●本店駐車場に「障がい者用駐車スペース」設置



●「消毒ステーション（センサー式消毒液噴射器）」の設置



●認知症サポーター養成講座・高齢者疑似体験講座を役職員が受講しています。



創立120周年事業

「佐渡 裕 指揮シエナ・ウインド・オーケストラ 《ブラスの祭典2022》」盛岡公演

「佐渡 裕 指揮シエナ・ウインド・オーケストラ
《ブラスの祭典2022》」盛岡公演に特別協賛しました。
本公演では、佐渡裕指揮によるシエナ・ウインド・
オーケストラが奏でる、「タルカス」「音楽のおもちゃ～
特別編〈丸ちゃんForever〉」「組曲《展覧会の絵》」
など、美しい旋律と迫力ある演奏をご堪能いただきま
した。

開催：令和4年11月22日
会場：岩手県民会館・大ホール



「田中達也 MINIATURE LIFE展2」

ミニチュア写真家・見立て作家として知られる、
田中達也氏による「田中達也 MINIATURE LIFE展
2」に特別協賛しました。世界中で注目されている
「MINIATURE LIFE展」は、バージョンアップし4
年ぶりに盛岡で開催、立体作品と写真作品約170点
が展示され、たくさんの方に足を運んでいただきま
した。

また、当金庫創立記念日である令和5年1月19日
には、当日ご来場されたお客さま先着500名様に
「当金庫オリジナルマイクロファイバークロス」を
プレゼントしました。

開催：令和4年12月10日～令和5年1月29日
会場：盛岡市民文化ホール・展示ホール



120周年記念定期預金「スマイル」および「新規ご契約感謝キャンペーン」の取扱い

日頃より当金庫をご愛顧いただいているお客さまに感謝の気持ちを込めまして、令和4年10月11日より特別定期
預金「スマイル」を発売、令和4年12月1日より「新規ご契約感謝キャンペーン」を取扱いしました。

定期預金「スマイル」は個人および法人を対象とし、100万円以上お預入れい
ただいたお客さまに特別金利0.1%を適用いたしました。「新規ご契約感謝キャン
ペーン」では給与・年金新規振込指定や預かり資産等の新規ご契約のお客さまに、
もりしん120周年記念オリジナル「マイクロファイバーポーチ」をプレゼントし、
皆さまに大変ご好評をいただきました。

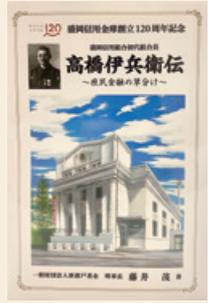
定期預金「スマイル」販売期間：令和4年10月11日～令和5年3月31日
「新規ご契約感謝キャンペーン」取扱い期間：令和4年12月1日～令和5年2月28日



当金庫初代組合長(前身:盛岡信用組合)高橋伊兵衛伝発刊

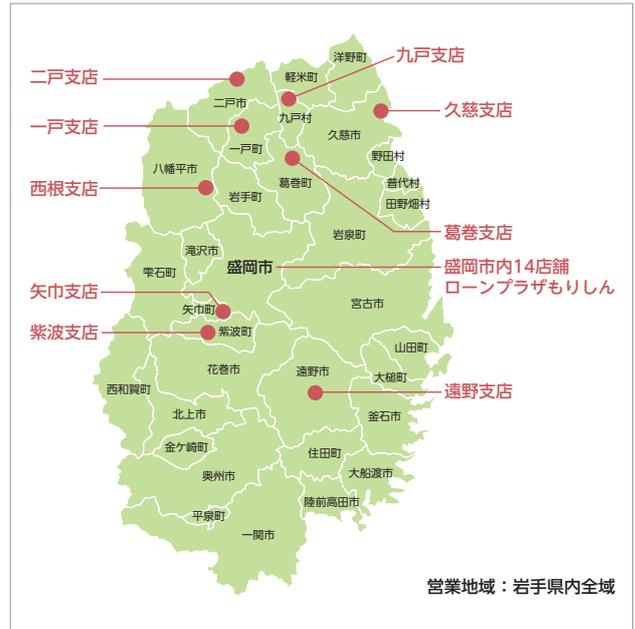
当金庫創立記念日である令和5年1月19日、当金庫初代組合長の生涯を記した「高橋伊兵衛
伝～庶民金融の草分け～」を発刊しました。

高橋伊兵衛(1866～1952年)は、中小企業への低利の資金融資を目的とした当金庫の前身
となる盛岡信用組合を設立し、その実直な人柄により、当金庫が今日まで存続する基礎を築いた
人物です。評伝は関係者等に配布されたほか、岩手県立図書館や盛岡市立図書館に寄贈いたし
ました。



●店舗インフォメーション・キャッシュサービスコーナー (ATM) (令和5年7月1日現在)

店舗所在地			店内キャッシュサービスコーナー
店舗名	所在地	電話	平日ご利用時間 土・日ご利用時間 祝日ご利用時間
本店	盛岡市中ノ橋通一丁目4番6号	(019) 623-2221	8:00~21:00
仙北町支店	盛岡市仙北一丁目14番11号	(019) 636-0022	
材木町支店	盛岡市材木町6番6号	(019) 623-6277	
大通支店	盛岡市大通一丁目6番15号	(019) 623-6227	
本町支店	盛岡市本町通一丁目9番26号	(019) 623-6257	
青山町支店	盛岡市青山三丁目30番1号	(019) 647-1181	
厨川支店	盛岡市厨川一丁目10番5号	(019) 641-1185	
都南支店	盛岡市津志田中央二丁目1番5号	(019) 638-3535	
高松支店	盛岡市高松四丁目1番10号	(019) 661-8136	
山岸支店	盛岡市山岸二丁目12番22号	(019) 652-5911	
松園支店	盛岡市松園一丁目20番25号	(019) 662-0101	
天昌寺支店	盛岡市北天昌寺町5番5号	(019) 646-7441	
東支店	盛岡市中野一丁目21番6号	(019) 624-6465	
みたけ支店	盛岡市みたけ四丁目4番16号	(019) 641-1330	
紫波支店	紫波郡紫波町日詰字郡山駅236番地1	(019) 676-2141	
矢巾支店	紫波郡矢巾町大字又兵衛新田7地割194番地1	(019) 697-8800	
西根支店	八幡平市大更第23地割98番地3	(0195) 76-2611	
久慈支店	久慈市中央二丁目1番地	(0194) 53-3281	
遠野支店	遠野市中央通り1番17号	(0198) 62-3247	
二戸支店	二戸市福岡字中町15番地	(0195) 23-2141	
一戸支店	二戸郡一戸町一戸字向町18番地の1	(0195) 33-3141	
葛巻支店	岩手郡葛巻町葛巻第16地割1番地1	(0195) 66-3311	
九戸支店	九戸郡九戸村大字伊保内第10地割10番地1	(0195) 42-2141	



ローンプラザもりしん (六日町本部)	盛岡市下ノ橋町2番14号	☎0120-160-656	窓口営業時間	平日 (土日、祝日、12月31日~1月3日を除く) 9:00~17:00
--------------------	--------------	---------------	--------	---

●店舗外キャッシュサービスコーナー

	平日ご利用時間	土・日ご利用時間	祝日ご利用時間
六日町			
滝沢市役所			
イオンモール盛岡南			
ビッグハウス巣子店		8:00~21:00	
アクロスプラザ盛岡みたけ			
二戸中央			
二戸市役所浄法寺総合支所			
紫波町役場		8:00~20:00	
流通センター (ラポール盛岡内)	8:00~19:00	土曜8:00~17:00	休業
マリオス	9:00~18:00		休業
DCM西根店		9:00~20:00	
ベルフまつどの			
ユニバースサタタウン松園店			
ショッピングコートみたけ		9:00~21:00	
盛岡南ショッピングセンターサンサ			
DCM盛南店			
パルクアベニュー・カワトク		10:00~19:00	
ニコア		10:00~20:00	

●共同利用キャッシュサービスコーナー

	平日ご利用時間	土・日ご利用時間	祝日ご利用時間
盛岡地区合同庁舎	8:00~18:00		休業
盛岡駅			8:00~21:00
岩手医科大学トクタヴェール			8:00~21:00
ユニバース久慈SC店			9:00~21:00
一戸町役場	8:00~19:00	土曜8:00~19:00	休業
盛岡市役所	9:00~17:30		休業
盛岡南ショッピングセンター			9:00~20:00
一戸ショッピングセンター			9:00~20:00
ビッグハウス川久保店			9:00~21:00
イオンモール盛岡			9:00~21:00
アネックス・カワトク			10:00~19:00

- ご入金について
当金庫キャッシュサービスコーナーにおいて、信用金庫・ゆうちょ銀行・信用組合・労働金庫・一部の第二地方銀行のキャッシュカードによるご入金ができます。
(現金の「出金」と同じ手数料がかかります。提携を行っていない金融機関がございますので、事前にお取扱金融機関にご確認ください。)
- お振込について
当金庫のキャッシュカードは、信用金庫、都市銀行、地方銀行、第二地方銀行、信用組合、労働金庫のキャッシュサービスコーナーで「お振込」ができます。
また、当金庫キャッシュサービスコーナーにおいて、信用金庫、都市銀行、地方銀行、第二地方銀行、信用組合、労働金庫のキャッシュカードによる「お振込」ができます。〔振込手数料〕と〔ATM利用手数料〕がかかります。
- 手数料について
平日8時から8時45分、18時以降と土曜日8時から9時、14時以降および、日曜日、祝日のご利用は延長手数料110円がかかります。
全国の信用金庫間の手数料は、平日8時45分から18時まで、土曜日9時から14時までは無料となります。(土曜日は、一部の信用金庫で終日有料となります。他行設置の共同利用のキャッシュサービスコーナーも有料となります。)
全国のゆうちょ銀行、銀行などのキャッシュサービスコーナーでもご利用いただけますが、手数料の金額が異なる場合がありますので、事前にお取扱金融機関にご確認ください。



令和5年度入庫式



第68回岩手県下信用金庫野球大会にて優勝した当金庫野球部

ディスクロージャー誌（資料編） に係るご案内

信用金庫法施行規則第132条および第133条並びに金融庁告示による開示項目等については、“ディスクロージャー2023・盛岡信用金庫の現況（資料編）”をご覧ください。

ディスクロージャー誌（資料編）は、当金庫のホームページからご覧いただけます。なお、インターネットに接続できる機器（パソコン、スマートフォン等）をお持ちでないお客さまは、当金庫職員までご相談ください。

●当金庫のウェブサイト

（ディスクロージャー誌の掲載ページ）

<https://www.shinkin.co.jp/morishin/about/?id=disclo>

※なお、スマートフォン等からは、
こちらでもアクセスすることができます。



本ディスクロージャー誌は、水資源や森林資源の利用を抑えた石灰石からなる新素材「LIMEX（ライメックス）」を使用しています。当金庫は、今後も限りある資源を大切に、環境に配慮したSDGsの取組みを継続してまいります。

廃棄に際しては古紙回収に出さず、可燃ごみとして取扱ってください



盛岡信用金庫

ディスクロージャー2023・盛岡信用金庫の現況

〒020-0871 盛岡市中ノ橋通1-4-6

TEL 019-623-2221

URL <https://www.shinkin.co.jp/morishin/>

